NPO法人
コメリ災害対策センター

TEPCO

「災害時における物資供給等の支援に関する協定」締結について

2020年4月7日

NPO法人コメリ災害対策センター

東京電力ホールディングス株式会社

目次

１．経緯・目的

２．協定概要

３．災害発生時の具体的な運用

４．今後について

1-1．経緯・目的

【NPO法人コメリ災害対策センター】

- 2004年、新潟県において発生した「7.13水害」、「中越大震災」で株式会社コメリの店舗も多くの被害を受け、早急に災害対策を充実させることの重要性を痛感した
- その経緯をふまえ、2005年に株式会社コメリの1%還元事業のひとつとして、災害対策に取り組むための永続的な活動基盤である「NPO法人コメリ災害対策センター（以下、「コメリ災害対策センター」）　」を設立した
- 設立以来、「災害時の物資供給のネットワーク構築」、「災害対策情報の提供」、「防災啓発活動・防災訓練への参加」を目指すべき姿として、自治体等と連携し災害時の物資の提供や、各自治体等に協力を頂き災害記録をデータベース化しホームページ等で広く情報提供を行ってきた
- 自治体のみならず、ライフラインに関わる企業との連携を検討するなか、東京電力ホールディングス株式会社（以下、「東京電力」）より物資支援協定の依頼があり、電力会社とは初めて協定の締結に至った

（参考）コメリ災害対策センター

- 支援協定締結数：**874**件（内　自治体**868**件）
- 全国1196店舗、11カ所の物流センター、災害対策ネットワーク協力企業を活用した物資の提供が可能

（参考）コメリ災害対策センターによる災害発生時の物資の提供事例

中越沖地震（2007年）

新潟県と連携し物資を避難所へ物資を提供

東日本大震災（2011年）

自衛隊と連携し被災地へ物資を提供

東日本大震災（2011年）

新潟流通管理センターで物資を積み込む自衛隊の運搬車

関東雪害（2014年）

新潟県、埼玉県と連携し、被災地の外から物資を提供
（大雪に見舞われたコメリ店舗）

1-2．経緯・目的

【東京電力ホールディングス株式会社】

- 東京電力は、近年の自然災害の激甚化を受け、災害への対応について検討を行ってきた
- 台風15号の対応においては、イオン株式会社さまとの協定により、復旧作業員向けの物資を提供いただいたことが、復旧活動に大きく寄与した
- また、関東（太平洋側）が供給エリアである東京電力は、太平洋側が全面的に被災することも想定し、日本海側に拠点を置く企業と物資支援協定を結ぶことで災害対応に備えることがレジリエンスの観点から重要であると認識をした
- 日本海側企業との連携は、東京電力の防災戦略上、喫緊の課題として検討を加速した結果、災害対策に特化したNPO法人として、自治体を中心に多くの協定を締結し、物資支援実績が豊富なコメリ災害対策センターに対し、災害時における物資支援協定の依頼を行い、本日締結に至った
- なお、東京電力は、 NPO法人として平時から災害を想定した防災対策ネットワーク構築や防災訓練を通じた関係機関との連携強化など、独自性のある公益活動に取り組んでいるコメリ災害対策センターの災害に向き合う真摯な姿勢に共感、東京電力にとって心強いパートナーになっていただけるものと考えている

（参考）東京電力の防災対策の基本方針

防災対策の基本方針

東京電力ホールディングスを中心とした各基幹事業会社との連携により、東京電力グループ一丸となって電力供給の早期復旧に努める

- 自然災害等を起因とした電力設備被災による、広範囲・長時間停電の発生を防止する。
- 発生した場合は災害の規模を軽減し、早期に健全な状態に復旧する。

①被災しにくい設備
o耐災設計、補強
o的確な保守　等

②被災時の影響軽減
o設備構成の多重化
oバックアップ機能 等

③被災設備の早期復旧
o電力設備の応急復旧用資機材
o復旧活動円滑化 等

- 大規模災害時の復旧作業の長期化を想定し、コメリ災害対策センターとの協定により、作業員が活動する上で必要となるテントやビニールシートなどの物資を支援いただく

２．協定概要

◆　目　　的：

災害時に円滑な連携により、迅速な被災地復旧活動を行うこと

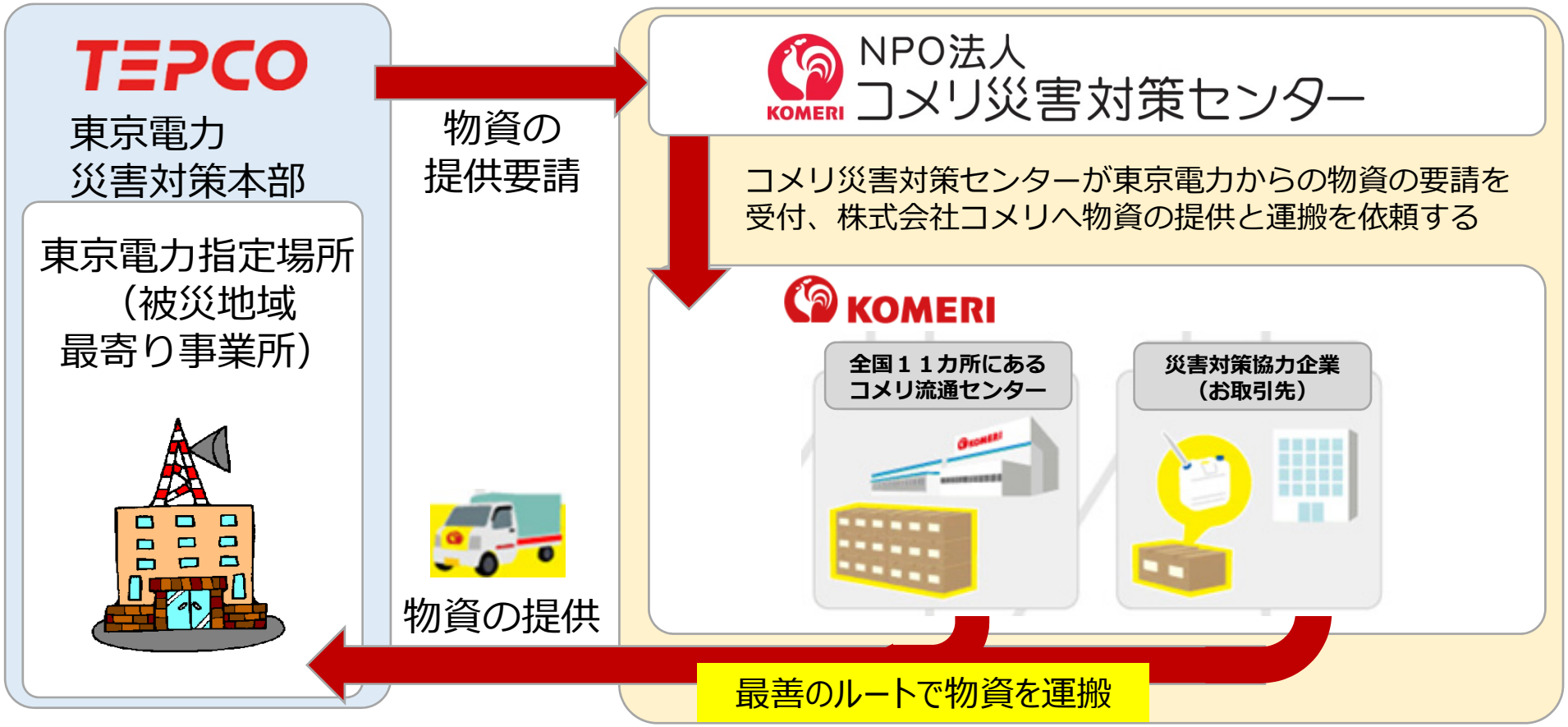
◆　協定の内容：

① コメリ災害対策センターは東京電力に対して災害発生時における災害復旧要員向けの支援物資（応急復旧用品、避難所用品等）を提供する

② その他、災害発生時、東京電力に対してコメリ災害対策センターの支援が必要な場合は、協議の上、コメリ災害対策センターが対応可能な支援を行う

３．災害発生時の具体的な運用

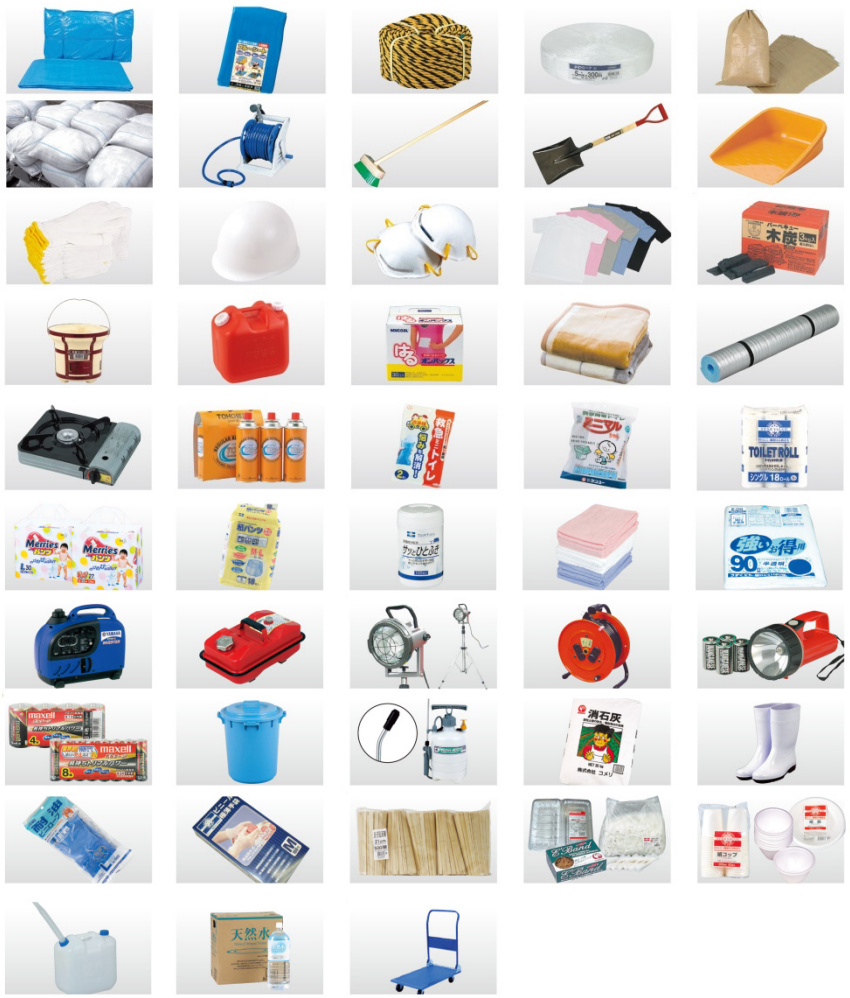
東京電力の要請に基づき、コメリ災害対策センターは物流ネットワークを活用し、物資の提供を行う



（参考）災害発生時に提供される資機材

応急復旧用品	避難所用品		
	作業用品	衛生用品	日用品
ブルーシート	ブルーシート	ごみ袋	カセットボンベ
角･剣スコップ	ヘルメット	ウェットティッシュ	カセットコンロ
ヘルメット	軍手	使い捨てカイロ	木炭
一輪車	長靴	マスク	木炭コンロ
発電機	雨合羽	救急セット(団体用)	携帯ラジオ
拡声器	タオル	消毒用アルコール	懐中電灯
ヘッドライト	マスク	携帯用トイレ	ランタン
テント	スタンド型投光器	成人用オムツ	携帯電話用充電器
簡易トイレ	ランタン	尿取りパッド	アルカリ乾電池
水缶	懐中電灯	ベビー用オムツ･おしりふき	**食事**
テント	ヘッドライト	生理用品	飲料水
毛布･アルミ毛布	ガソリン携行缶	害虫駆除	水缶
高圧洗浄機	工具セット	ハンドソープ	ラップ･ホイル
土のう袋		**住環境**	割り箸
ゴム手袋		段ボール	使い捨て食器
カラーコーン		テント	アルファ米
十能		毛布･アルミ毛布	保存水
てみ		スリッパ	カンパン
デッキブラシ		間仕切り段ボール	粉ミルク
		折りたたみベッド	

供給物資は、株式会社コメリおよび、取引先企業の扱う商品が対象



流通センターの一角に、コメリ災害対策センター独自の備蓄も保有

（参考）2019年台風第15号・第19号で供給した資機材（抜粋）

台風第15号では約3週間、第19号では約2ヶ月間にわたって、被災自治体への要請に基づいた物資供給を行いました。

台風第15号　16品目
要請日：9月9日～9月27日

～3日	土のう袋	ブルーシート
～1週間	乾電池	土のう袋
	ブルーシート	熱さまシート
	飲料水　500㎖	標識ロープ
～2週間	乾電池	土のう袋
	ビニールひも	ブルーシート
	布テープ	養生テープ
	地下足袋	気密防水テープ
	ストレッチハーネス	標識ロープ
～3週間	土のう袋	PPロープ
	気密防水テープ	マイカ線
	胴縁	

台風第19号　85品目
要請日：10月9日～11月27日

～3日	土のう袋	ガラ袋	ブルーシート
	マスク	水缶	
～1週間	土のう袋	ゴム手袋	消石灰
	ブルーシート	マスク	
～2週間	土のう袋	ゴミ袋	マスク
	軍手	消石灰	
～3週間	土のう袋	貼るカイロ	耐油手袋
	レジャーシート	ブルーシート	
～4週間	土のう袋		
～5週間	寝具	貼るカイロ	合羽
	洗濯ばさみ	たわし	
～6週間	土のう袋	ガラ袋	
～7週間	土のう袋		

４-１．今後について

【コメリ災害対策センター】

- これまでは自治体などを中心に協定を締結し、住民への物資供給を行ってきたが、今後は併せて、東京電力などライフラインを支えている事業者(指定公共機関)をバックアップする協定の締結も進め、ライフライン復旧のための支援を行っていく

- 備蓄の面において、被災者支援の物資だけでなく、今後は実作業で必要となる物資等のさらなる充足を図っていく

- 東京電力と協力し、災害対応における支援活動を円滑に行うため、東京電力に協力いただき、物資輸送訓練を実施するとともに、円滑な受発注の仕組みを構築していく

４-２．今後について

【東京電力】

- 日本海側（新潟）に拠点のあるコメリ災害対策センターとの協定は、東京電力の防災戦略上、非常に重要であり、災害時対応力の強化につながるものと考えている

- 電気事業者として日頃の電力設備の強化、保守・点検作業等を通じ、電力の安定供給に努めることに加え、災害復旧への体制を強化するために、様々な分野との連携を進めていく

- 引き続き、防災・減災への取り組みを進めることで、電力のレジリエンスを着実に強化し、電気事業者としての社会的使命にしっかりと応えていく

- 災害対応における支援活動を円滑に行うため、コメリ災害対策センターと協力し、物資輸送訓練を実施するとともに、円滑な受発注の仕組みを構築していく

- 今後も「防災・減災」力の向上を通じて、地域社会へ貢献できるよう、取り組んでいく

以　上